

- 1 会議名 議会基本条例推進協議会
- 2 日時 平成29年10月13日（金）
開会 午前10時 閉会 午前11時17分
- 3 場所 第3委員会室
- 4 欠席議員 なし
- 5 説明員 なし
- 6 出席者 議会事務局長 尾関友康、同主事 高山智史
- 7 あいさつ 宮川会長よりあいさつ。
- 8 報告事項

（1）行政視察について

宮川会長：11月15日までの視察の受け入れ予定は資料のとおり。強制はしないができるだけ全議員の出席をお願いしたい。欠席の場合は個別に私か鬼頭福会長まで連絡すること。

塚本議員：全国市議会議長会研究フォーラムに多くの議員が出席すると思うが、11月15日の青森県三沢市の視察には何人出席できるのか。

宮川会長：5人程度残る予定。フォーラムに出席する議員はしっかり勉強してきてほしい。

（2）マニフェスト大賞への応募について

櫻井議員：本議会からも応募したマニフェスト大賞の結果発表があったので報告する。結果は資料のとおり、残念ながらノミネートされなかった。なお、10月5日にこの中から優秀賞が選ばれているので、議員各位で確認をお願いする。

（3）岩倉市議会サポーター設置に関する要綱について

鬼頭副会長：お手元に岩倉市議会サポーター設置に関する要綱を配布させていただいた。ご一読いただき改善点、疑問点があれば機能強化チームで検討させていただく。特に予算に関係するところで、議会サポーターの定員は100名とするとあるが、定員の呼びかけについては、年代別の無作為抽出をして議長が委嘱する予定である。500名程度に手紙を送付し、返答をもらうことを考えている。また、資料に記載はないが、無作為抽出と併せて市民からの公募も求める予定のため付け加えていただきたい。正式なものが出来上がりしだい全議員に配布する。

宮川会長：いきなりこの場ですべてに目を通して意見をもらうことも難しいと思うので、まずは、6条がらみのところでイメージだけとらえたい。サポーター

のあり方は多岐にわたると思うが、岩倉市の規模で１００名という人数が適切かどうか、全くの無作為で抽出するのか、どのような形の会議態をイメージしているのか。

堀議員：会議を主たる目的とするのではなく、議会だよりや議会の映像を見て素直な意見を求め、意見交換等を行うイメージである。

宮川会長：定期的に集まり、意見をいただく場所を設けていくということか。

堀議員：定期的ではない。

鬼頭副会長：基本的には意見交換会を毎年１回ないし２回行い、そこで出た意見を集約していく。

黒川議員：従来から議会モニターという形で進めてきたが、前回の機能強化チームの議論では、モニターでは上から目線的なものになりがちということと、とらえる視点が断片的になりがちということから議会サポーターとした。サポーターということで、支援も含めて議会のあらゆるところに出てもらいながら、意見、提言を求める。我々も意見交換会で、積極的にサポーターの意見を吸収し、反映することで会議を深くさせたほうがよいだろうとなった。もう一点として、今がちょうど予算編成時期となっており、郵送料や謝礼といったものを考えていく必要があるので、３０年度に向けて実施をするという方向性の確認と予算面について、意見を出してもらい、事務局の予算編成作業に反映させていきたい。

宮川会長：サポーターの具体的な取り組みは、チームで引き続き検討してほしい。今提案のあった部分について、方向的にはよいと思うが、他の議員から何か意見はないか。

梅村議員：謝礼にしても、活動頻度が決まらないと決められないと思う。他の議会では、謝礼付きで行うところが多いのか。

鬼頭副会長：無償のところもある。

宮川会長：市民参加を促すという面では一つのきっかけになると思うが、逆に無償のほうがフランクに参加できるということも考えられる。

黒川議員：市民討議会と同程度の記念品ではどうか。例えば、３０００円程度のクオカードなら受け取る側もそこまで負担を感じないのではないか。

大野議員：市民討議会では、２０００人に無作為抽出を行い８０人の応募があった。５００人に抽出をかけるとおそらく１０名から２０名程度の応募しか集まらないと思うので、定員の設定が１００人となっているのはどうかと思う。４００人程度にしたほうがよいのではないか。

宮川会長：あまり最初から定員を絞ってしまうと専決しなくてはいけなくなるの

ではないか。

堀議員：イメージとしては各年代別なので、１０代から７０代以上のうち年代の層を１０層に区切っても、各層１０人ずつ集まれば１００人になる。このため最大枠として１００人と設定したが、現実的には２０人から３０人集まればよいと考えている。

宮川会長：予算要求の中では、１００名分要求していくということでよいか。

大野議員：私は、もっと現実的な数字のほうが良いと思う。

堀議員：会議に毎回参加することを義務とするものではないので、できるだけ敷居を低くしようと思っている。そのため、日中は仕事をしている人にも手を挙げてほしいし、一般の会議とは少し違うものになると思う。

宮川会長：堀議員の意図しているところは、参加者に意識を持ってもらうということだと思う。逆に大野議員が言っているのは。

大野議員：予算要求をしていく際に集まる見込みが薄いのに募集人数いっぱい額を要求していくのはいかがなものかということ。

黒川議員：予算要求については、要綱上は１００人としておきながら、要求上は半分の５０人にしておいて、不足した際にはその都度対応していくとして、大切なのは、いかにして市民の自主的な参加を促すのかということだと思う。ただの無作為抽出だけでは、本当に関心を持って意見を言いたい人が参加する機会がなくなってしまうことから、２段階目には応募、公募ができるようなことをやりたい。

宮川会長：全体の活動内容までまだ固まっていない段階なので、どの程度の参加があるのかも読めない。ただ、予算要求の時期もあるので、この件について特段ご意見がなければ、この件については、正副会長、正副議長で進めていきたいと思うがよいか。

(賛成の声あり)

宮川会長：方向性が決まった段階で案を示して、進めていく。

９ 協議事項

(１) ふれあいトークについて

宮川会長：川井町とのふれあいトークについては、執行機関からの回答以外の部分については一定進めさせていただいたので、執行機関からの回答を入れたものを用意した。まだ、決裁前の資料のため、変更になる部分があ

るかもしれないという前提で協議を進めていく。精読のためいったん休憩とする。

(午前10時50分再開)

宮川会長：質問事項に抜けている部分や趣旨が違う部分があれば発言を求める。

鬼頭副会長：川井町の方で16番デマンド交通に関する部分の議会の応答のところが「一度決めたものを変えるのは難しい。」となっているが、「議会として様々な対応をしている。有効な活用や提案を議会として当局に要望していく。」としてはどうか。

宮川会長：この部分については、提案の通り差し替える。

木村議員：全体を通して、執行機関側の回答は「ですます調」で議会側は「である調」になっているので統一すべきではないか。

宮川会長：「である調」に統一する。

梅村議員：東町の方の最後の質問に対する議会の応答の中に「議会として政策提案をしている。」とあるが、この部分に違和感がある。

黒川議員：同じ欄に「行政側は一般質問で政策提案しても反映されない。」とあるので、梅村議員の指摘した部分を削ってはどうか。

宮川会長：「議会として政策提案をしている。」という部分を削除することとする。

榊谷議員：同じ欄の最後に「約束事だからできる。」とあるが変ではないか。

宮川会長：この部分についても削除する。

須藤議員：先ほどの「行政側は一般質問で政策提案しても反映されない。」という部分について、「議員としても一般質問で政策提言をしている。」としてはどうか。

宮川会長：同意

榊谷議員：同じ欄の一行目も「難点は」という主語に対して結びが「延長がきまった」となっているのは変ではないか。

木村議員：「名古屋高速の延長に力が入っているため、この件については動きがない。」としてはどうか。

宮川会長：「議員としても一般質問で政策提言をしている。」という文を頭にもっていき、木村議員の提案の通りの文をこの後につなげる。ほかに意見等がないようなので、正副会長で字句等の整理を行った後、再度皆さんにお示しする。このこと以外で意見等はないか。

大野議員：本来は9月議会後に地域に出てもしくは全体のふれあいトークを開催

しなければならない。３月議会前では予算案が出た段階になってしまうので、できれば１１月いっぱいまでに今まで行っていない地区と全体向けのものを開催しないといけない。

宮川会長：まだ確定ではないが、せいじ〜るから１１月に外国籍の方とのふれあいトークを提案されている。具体的な提案が出てきてから日程調整をさせていただく。地区との意見交換会は、１１月を目途に２か所および議会報告会を開催するよう調整していく。

（２）予算に関する政策提言書について

関戸議員：平成３０年度予算に関する政策提言書ということでまとめさせていただきました。財務常任委員会での皆さんの発言から抽出し、１８項目にまとめました。内容については、別添資料の通り。この内容についてご一読いただき、加除修正をお願いしたい。また、平成３０年度予算に関する政策提言ということなので、なるべく早く議長名で市長に提出したいと考えている。スケジュールについても含めて意見を頂戴したい。

宮川会長：本来の手法では、各常任委員会に割り振って、より深く内容を検討できればと思うが、来年度予算に反映させようと思うと一定の速度も必要だと思うがどうか。

須藤議員：提出時期はいつごろか。

堀議員：１１月中には提出する必要があると思う。

大野議員：集落と集落との間の暗い道にＬＥＤ照明の配置検討というのは何か。

関戸議員：宮川会長が以前質問した通学路に街灯を求めるものである。

大野議員：この件については、以前照明をつけようとしたが、農地に影響があるということで地元から拒否された。

宮川会長：今回は、地元から上がっている要望といろいろな大学からの研究成果を提示して説得するなど、賛成者と反対者の間をとってどういう形で設置できるのかが今後の課題だと思う。

梅村議員：こういったものは、提出するまでのプランをどうするのが大切だと思う。例えば、一定の期間内に全員が内容を読み込んでから話し合う必要があるが、一回の協議会では難しいのではないか。また、どの協議会で取り扱うのか。

宮川会長：方向性だけを示すのであれば、早急に取りまとめることは可能だと思う。項目によっては予算規模が大きくなりそうなものもあるが、補正予

算で対応できるものについては、もう少し腰を据えて取り組んだほうが良いのではないか。

木村議員：答弁の中で一定出ているので、執行機関側と方向性がほぼ同じでない限りは、難しいと思う。また、項目だけを上げていくのではなく、それに付随する資料も用意する必要があるので、18項目すべてを出すのは不可能だと思う。

大野議員：この18項目の中から5項目に絞ってはどうか。

宮川会長：委員会のバランスは考慮しなくてもよいか。

黒川議員：そこまでは考慮しなくてもよいと思う。この件は、本議会では政策決定サイクルがあってないような状態なので、これからは年間を通じて政策について考えていくきっかけにしたいと考えている。

宮川会長：先ほど提案があったように5項目に絞って取り組んでいくこととする。各自選んだものを事務局に提出し、取りまとめる。

堀議員：5項目に絞ったら、質問に至るまでのあらまし、概要を資料として付けて、目的や効果は施策評価シート付けるなど資料を充実させたほうがよいと思う。

宮川会長：その作業に関しては、例えば、5項目に絞った後にそれに付属する資料を添付するものとする。

(午前11時17分閉会)